



角力とりの雷電が石とられくと云事を真事詠
 讀賣ニ出したれど十六日の報知新聞より昨十五日

角力年寄の玉垣伊勢の海を始相手と
 綾瀬川と雷電の女仕伏を受て

磐石が代言人とあり第一分廳に
 願出くると有と見れハ前日

の石とられくハ何の間違

あらん名を東らせ

雷電や諸事と艶ある

綾瀬川等が堪え

兼ての訴るれが

何うやつれの

有事とてあるも

代理ハ磐石と

先こんだでの四十八手どちうよ

團扇がとるりおぬと行司の役は

骨折あらん早く勝負附

見しそのい

新聞高會

二十五

雷電

小野政二代

八尾七郎

町平三

